

# 杏林

KYORIN DAIGAKU SHIMBUN

## 大学新聞

1・3面 **グローバル教育**  
文科省支援で更に充実へ  
本学のグローバル人材育成の特色  
目指す人材像  
ポール・スノードン先生インタビュー

4面 **就職活動支援**  
各学部とキャリアサポートセンターの取り組み

5面 **卒業生、在学生リレー**  
医学部 渡邊理紗さん  
空港検疫官 平沢智世さん

杏林年代記 医学部付属看護専門学校  
6・7面 **学部・大学院トピックス**

8面 **連載** 金田一教授の研究室  
健康ひとくちメモ、数字でみる杏林大学

# グローバル教育 文科省支援で更に充実へ

杏林大学は昨秋、文部科学省の「平成24年度グローバル人材育成推進事業」の対象校に選ばれました。本事業は国際社会で活躍できる人材を育成するための教育構想を持つ大学に対して、国が向こう5年間にわたり重点的に財政支援するものです。

外国語学部がこれまで取り組んできた独自の語学教育プログラムや今後本学が目指す「中国語圏で活躍する日中英トライリンガル人材の育成」構想が高く評価されました。

今号では、杏林大学の今後の教育の大きな柱となる本事業の内容や取り組み、それに4月に副学長に就任して国際交流の推進役を務めるポール・スノードン客員教授のインタビュー等の特集します。

### 文科省の5か年事業に採択

文部科学省のこの事業は、大学全体でグローバル人材育成を推進する全学推進型・Aタイプと学部・研究科等が先導して他学部へも波及させる特色型・Bタイプの2とおりがあり、本学は特色型・Bタイプで採択されました。跡見裕学長自ら審査会でプレゼンターを務めるなど全学的な取り組みが効を奏し、2012年9月、129校152件の申請の中から採択された42件の1つに選ばれました（Aタイプ11件、Bタイプ31件）。採択により平成28年度まで、文科省から財政支援を受けることになっています。

### 本学のグローバル人材育成の特色

本学の目指すグローバル人材育成はひとことで言うと、「中国語圏で活躍するスマートでタフな交渉能力を兼ね備えた日中英トライリンガルの育成」です。

「日中英トライリンガル」とは  
これからの国際人は母語と英語に加え、もう1言語が話せる、つまり英語プラスワンが必要と言われます。いうまでもなく、世界第一の共通言語は英語で、世界80カ国以上で使用されています。一方、GDP（国内総生産）世界第2位となり、台頭著しい中国。中国語は国連の公用語の一つでもあり、「世界の5人に1人は中国語を話す」とも言われています。英語と中国語をツールとすることは、ビジネ

スや交渉の場で活躍する第一歩であり、世界に通用する人材にもなれるということです。

**なぜ、中国語圏**  
中国を始めとする東アジア地域は経済成長著しく、日本の貿易相手国のシェアは約50%を占めています。日本と中国とは、現在こそ尖閣諸島領有権問題で冷え込んだ関係にありますが、この先大局的にはともに発展しあう重要なパートナーであることは間違いありません。アジア中国語圏は既に欧米からの進出企業も多く、今後の国際的な開発・技術・経済の協力と競争の中心になるとみられ、これからの日本にとって大きな活動舞台となります。

### 目指すグローバル人材像

#### I. 語学力の到達目標

	英語学科/観光交流文化学科	中国語学科
英語	<b>TOEIC® 800点以上</b> <b>TOEFL® iBT 90点</b> <b>IELTS 6点以上</b> ※英語母語話者のプレゼンテーションや英語のニュース放送の内容を理解し、自らの考えを述べるができる。 ※英字新聞などの記事を初見で理解でき、自らの考えも述べるができる。	<b>TOEIC® 500点以上</b> <b>TOEFL® iBT 52点以上</b> <b>IELTS 4.5点以上</b> ※日常的な英語を聞いて主要な論点を把握できる。 ※自己紹介や日常生活の話題を英語で説明できる。
中国語	<b>HSK2 級以上（日常会話レベル）</b> <b>中国語検定 4 級以上</b> ※日常的な中国語を聞いて主要な論点を把握できる。 ※自己紹介や日常生活の話題を中国語で説明できる。	<b>HSK5 級以上（中国一流大学入学レベル）</b> <b>中国語検定 2 級以上</b> <b>通訳案内士（中国語）</b> ※中国語母語話者のプレゼンテーションや中国語のニュース放送の内容を理解し、自らの考えを述べるができる。 ※ビジネスや国際協力の場面で、中国語母語話者と中国語で電子メールのやりとりができる。

（平成28年度には上記資格取得者数を、現在の4倍にすることを目標にしています）



38のカレッジと6つのホールの総称であるオックスフォード大学は800年の歴史を持つ英語圏最古の大学です。街には美しいカレッジ群と大学施設が広がっており、杏林大学外国語学部はオックスフォード大学の施設を使った短期研修を20年以上実施しています。（写真提供：UTS国際教育センター）

#### スマートでタフな交渉能力とは

ここで言う「スマート」とは、「コミュニケーションにおける文化的習慣をわきまえ、学際的教養に基づいて過不足なく明快な議論を対等に展開できる」こと、「タフ」とは、「互いに得るものがある結

論を粘り強く導くことができる」ことを意味します。国際協力・国際競争の場で活躍するためにはただ語学ができるというだけではなく、問題発見力・問題解決力・自己表現を含むスマートでタフな交渉能力が求められます。

#### II. スマートでタフな交渉能力の涵養

他学部や大学院とも連携しながら、リサーチ、ディベート、プレゼンテーションなどを通して①相互の歴史、文化、慣習に対する素養と深い洞察に基づくスマートな交渉能力②複雑な国際政治や経済情勢、政治に関して過不足なく明快な議論を展開できるスマートな知性③困難な状況下でも自らの意見の発信力を堅持し粘り強く対等に交渉や調整にあたり建設的な結果を導きだすことができるタフな交渉能力を身につけることが目標です。

こうした目標に向かってどのような取り組みを実践していくのか次にご説明しましょう。

# 平成28年4月 三鷹に新キャンパス誕生へ 八王子3学部が移転予定

杏林学園は平成28年に学園創立50周年を迎えます。この記念事業の大きな柱として八王子キャンパスの三鷹市への移転計画が進められています。

新キャンパス予定地は三鷹キャンパスの北約700mの三鷹市下連雀地区の

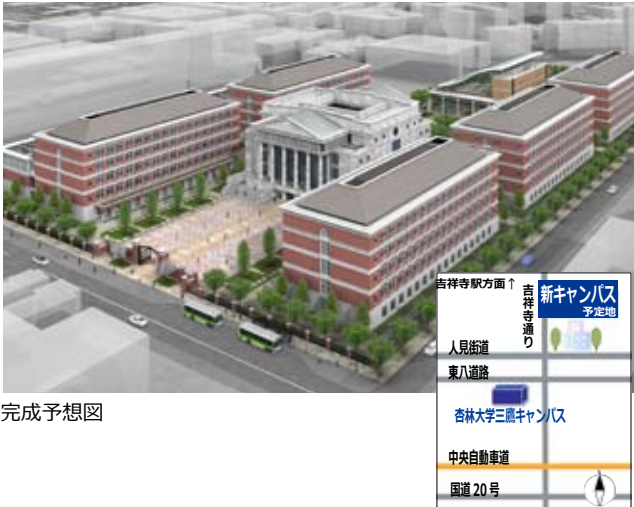
約3万5000㎡で、用地確保は最終段階に入っています。

計画では5つの学部棟（5階建）のほか、事務室やラーニング commons の機能を持った図書館を備えた本部棟（5階建）、約1000席の食堂や国際交流

施設、部室の入った厚生棟（4階建）、緑豊かなガーデンプラザが建設されることになっています。

杏林大学は、2つのキャンパスが近接することにより医療系と文系の垣根を越えた連携が強化され、グローバル教育による「国際的総合大学」を目指して新たな歩みを始めます。

なお、八王子キャンパスは当面、運動施設などとして活用される予定です。移転計画がまとまりましたら、改めて詳しくお伝えします。



完成予想図



# 卓抜した語学力習得に向けて

外国語学部では“使える外国語”を目指し、これまでもオリジナル教材による語学教育プログラム（PEP = 実践英語習得プログラム、CIC = 実践中国語習得プログラム）に取り組んできました。

## 英語サロン、中国語サロン



2010年に始まった英語サロンに加え、2012年10月から中国語サロンが開設されました。

2つのサロンは文科省の財政支援を得て、学生食堂「ガーデン丘」の2階に隣接して整備されました。室内には海外の書籍のほか、BBCやCNN、中国国営放送が視聴できるテレビが設置されています。

たが、文科省の事業採択を受けて新たに中国語サロンを開設するとともに、インターネットでいつでもどこでも学べるe-ラーニングシステムを開始しました。

サロンで使用する言語は英語と中国語のみです。ここでは自由時間や空き時間に特定の話題についてネイティブの教員や海外からの留学生と意見を交換したり、会話を楽しんだりすることが出来ます。「国際的な対人コミュニケーションスキルが身につく」と意欲的な学生たちが授業の合間を縫って連日訪れ、授業とは一味違った語学習得に励んでいます。

## PEP、CIC オリジナル教材で徹底的に基礎固め

PEP (Practical English Program) は生きた言葉を「真似る」「慣れる」、そして「覚える」を繰り返すことを基本として実践英語を身につける2年間の課程です。

CIC (Chinese for International Communication) は中国語の基礎から日常会話、留学やビジネスに対応できるまで着実に語学力を伸ばせる2年間の実践中国語習得プログラムです。

## e-ラーニング インターネットを使い、24時間いつでも英語と中国語の2言語の学習が可能

自宅や留学先などインターネット環境があれば、どこでも語学の学習ができるe-ラーニングシステムが導入されました。

このシステムの特長は、学習履歴や習得状況等を確認しながら

勉強できることです。さらに適切なタイミングで教員のアドバイスが受けられます。

e-ラーニングは、他学部生や教職員による活用も計画されています。



e-ラーニング学習画面。イラストや動画がふんだんに使われていてわかりやすく学習できる。



### 留学の準備 としても活用

外国語学部  
中国語学科1年  
あらい あき  
**新井 秋桜さん**

ゲーム感覚で楽しく発音や単語が覚えられるので、授業の予習・復習や中国語検定試験の対策にもなります。メインは中国語ですが、英語にもチャレンジしています。秋学期に北京語言大学に留学するので、e-ラーニングでしっかり準備したいと思います。

### TOEIC 対策 に活用

外国語学部  
英語学科2年  
むらかみ なな  
**村上 奈々さん**

最初に受けるレベル診断テストの結果で、自分にあった学習メニューが用意されるところがいいです。

TOEIC対策として使っています。わからなかった単語は自動的に単語帳にまとめられるので、後で見直すにはとても便利です。



「中国語通訳法 I-2」の授業。CICで学んだ基礎が、高度な授業へと発展してゆく

# 問題発見力、問題解決力、自己表現力の養成に向けて

世界を舞台に活躍するためには、日本のことはもちろん、歴史や文化、政治、経済と幅広い視野から国際的な知識を深めるとともに、問題を発見し解決していく問題解決能力を身に付けることが必要です。

それには外国語学部の語学力育成ノウハウと総合政策学部が持つ教育資源と連携した学びが有効です。総合政策学部がこれまで展開してきた、事象を多角的に捉える問題解決型授業「学際演習」をグローバル人材育成向けに特化させた「ケーススタディ演習」が始まりました。

## ケーススタディ演習

2月14日、「中華人民共和国」をテーマにグローバル集中講義が、外国語学部と総合政策学部双方の学生が参加して行われました。

「尖閣諸島を巡る日中米台の動き」(総合政策学部 渡辺剛准教授)、「中国における日系企業の労働紛争の解決」(総合政策学部 劉迪准教授)、「これからの日本企業の中国展開」(外国語学部 井上俊治教授)の3人の教員による講義をとおして、中国ならびに日中関係に関する基本的知識を身につけると共に、異文化理解力、国際交渉力の基本を学びました。

このグローバル集中講義は初めての試みで、中国語での発言が交わされたり、トピックスによってその事象を専門とする教員が解説を担当するなど、複合的な

## リサーチ、ディベート、プレゼンテーションを繰り返し行う PBL ※を積極的に導入



グローバル人材育成推進事業の補助金で新設されたアクティブラーニング教室。教室内の机は可動式で、講義、ディスカッション、個別のレポート作成と状況に応じて組み合わせることができる。ほかにプレゼンテーション用大型スクリーンが3基、壁面に取り付けられた大型ホワイトボード、電子黒板などが揃う。

授業が展開されました。

同時通訳者になるのが夢だという中国語学科の学生は、「1年間中国に留学して、歴史や政治、文化に対して理解する

ことが必要と実感した。とても新鮮な授業スタイルで面白かった」と話していました。



わたなべ たかし  
**総合政策学部准教授 渡辺 剛**  
専門は現代中国・台湾政治論及び社会論、東アジア比較政治体制論、東アジア国際関係



りゅう てき  
**総合政策学部准教授 劉 迪**  
専門は近代中国政治における連邦主義問題、中国メディアと表現の自由、中国の経済政策



いのうえ しゅんじ  
**外国語学部教授 井上 俊治**  
専門は中国ビジネスコミュニケーション論、中国通訳翻訳論

※ Problem Based Learning (問題解決型授業) 学生自らが問題点・疑問点を見つけ、調査・分析・考察を行う。さらに、自らの考えをプレゼンテーション等により発表・ディベートを行う。

# 海外留学の促進



## 自分にあった留学スタイル

高度で実用的な語学力や交渉能力を身につけるには留学が一つの方法です。

留学には協定校への交換留学、派遣留学、 Semester 留学等があり、期間は3カ月から1年間のものまで、学生の能力、ニーズに合わせて選ぶことができます。留学中は在籍期間とみなされ、4年間で

の卒業が可能です。

夏休みや春休みには短期海外研修も実施しており、研修は単位として認定されます。**協定校を増やし、4年後 留学生倍増へ**  
本学では毎年80人余りの学生が中国、アメリカ、台湾、イギリス等に留学していますが、海外協定校を増やすなどして、外国語学部を中心に4年後にはこの人

数を2倍以上に増やす計画です。

留学先の授業料は交換留学では免除、派遣留学・ Semester 留学では学生本人が負担しますが、その間の本学での授業料は8割減免されます。

このほか留学中の危機管理面でのサポートやキャリアサポートセンターによる帰国後の就職支援も行います。

## ●インタビュー

グローバル教育で国際社会へ  
飛躍する杏林大学平成24年度  
グローバル人材育成推進事業シンポジウム未来を切り拓く  
日中英トライリンガル人材日時：平成25年3月16日(土)  
午後2時～午後4時30分

◎シンポジウム終了後情報交換会を行います。

会場：大手町サンスカイルーム  
東京都千代田区大手町2-6-1  
朝日生命大手町ビル27階A室  
言語：日本語および中国語、英語  
(同時通訳あり)定員：120名(定員になり次第、受付終了)  
※参加費 無料  
事前申込：①氏名②所属(勤務先等)③メールアドレス④電話番号⑤情報交換会への参加有無を記入し、g-seminar@ks.kyorin-u.ac.jp に送信。

## プログラム

## 第1部 基調講演

邱 鳴 北京第二外国語学院副学長  
ブルース・ストロナック  
テンブル大学ジャパンキャンパス学長

## 第2部 パネルディスカッション

コーディネーター ポール・スノーデン 杏林大学客員教授  
周 潔 北京第二外国語学院日本語学部学部長  
赤井孝雄 杏林大学外国語学部学部長  
塚本慶一 杏林大学外国語学部教授  
三浦秀之 杏林大学総合政策学部講師

## ◎特別発言

内田 勲 横河電機株式会社最高顧問

問い合わせ：杏林大学国際交流センター

グローバル人材育成推進プログラム特設サイト  
世界に、生きる。

www.kyorin-u.ac.jp/univ/feature/global/



「杏林大学グローバル人材育成推進プログラム」特設サイトをwebで公開しています。

サイトでは、語学教育のための学習施設や海外留学を経験した学生たちの声の紹介、セミナーやシンポジウムをご案内しています。

今後、留学生が現地の様子を写真とともに投稿し、学生同士が交流を深めることのできるコーナーも開設します。

ますます活発となる本学のグローバル教育をホットに紹介していきます。

ポール・スノードン  
(Paul Snowden) 先生

1946年イギリス・ダービー生まれ。1972年ケンブリッジ大学キングス・カレッジ 修士号取得。1973-1977年ブルックランズ・テクニカル・カレッジ(英ウェイブリッジ)でドイツ語、ロシア語を教える。1977-1983年筑波大学地域研究研究科 外国人教師。1983年早稲田大学政治経済学部専任講師(1985年助教授、1990年教授)。2004年早稲田大学国際教養学部教授(2006-2010年同学部長)。2012年4月杏林大学客員教授、2013年4月杏林大学副学長。

主な著書・編書：『ロンドン事典』(大修館書店)、『新和英大辞典第5版』(研究社)、『ヨーロッパ人の見た文久使節団』(早稲田大学出版部)など多数。

も事実です。英語の授業を用意できれば、彼らにとって英語で授業を受けるチャンスと日本の社会を学べるチャンスが実現できます。英語による授業は、杏林の学生が留学先で力を発揮でき、一方で外国の学生が杏林で学ぶ機会が増えることとなります。

移転先の新キャンパスには国際交流のための施設を設けることにしています。多くの留学生を受け入れる環境が整い、日常的に世界各地からの留学生が行き交うキャンパスでは、杏林の学生たちが積極的に留学生と交流する機会も増えるはずで、まさに国際的なキャンパスになると思うと楽しみです。

## コミュニケーション力が大事

学生は、知識を身につけ、考える力を磨いていくことの他に、コミュニケーションの能力の養成が大事です。客観的に物事を理解するための分析力、判断力を身につけるスキルの前提として、異なった意見をきちんと聞き、別の立場から物事をみていくというコミュニケーションの力が大事ですが、これもグローバル教育では必須です。

## 杏林のグローバル教育

杏林大学のカリキュラムはこれから変わります。受験生、保護者、そして企業にこれからの杏林の教育内容についてぜひ知っていただきたいと思います。

杏林の学生は留学して異文化経験を積んでいてタフなグローバル人材が多いという評判が定着していくことが大事です。最初から充実した留学制度があることがわかれば、留学したい学生が入学してきます。かつて私も海外留学しましたが、学生時代に外国で一人で暮らすことはとてもいい経験になります。

留学経費については海外のパートナー校と交渉していかんが学費を抑えるかいろいろ努力していきます。経済的に難しい学生の場合は、奨学金などの経済的支援をしたり、外国の雰囲気や学べる国内の大学と連携するなどして、選択肢の幅を広げることを考えています。

## 創立50周年、新しいキャンパスから始まるこれからの杏林大学

八王子キャンパスには優れた教授陣がおられ、カリキュラムのコンセプトがしっかりしていて、その中身も十分整っています。新キャンパスが医学部のある三鷹キャンパスに近接して設けられることによって、4つの学部が、それぞれ個性を発揮しながら、総合大学として上手く融合し連携の効果を発揮していくと思います。

humanities で表される文系と、学問の対象が human beings である医療系に共通する human の部分を尊重して、杏林大学らしさを発揮できるカリキュラムを作っていくつもりです。

移転と同時にさまざまな改革が進行していきますが、それはいわゆる冒険です。新しいキャンパスに入ってくる学生たちも冒険家なのであり、一緒に冒険してほしいと思います。

私たちは新キャンパスづくりに向けてこれから3年間いろいろな面で整備を進めていきます。私たちは教育の中身で勝負していきます。

学生が生き生きと意欲的に学び、教職員はやりがいをもって使命を遂行する、そんな杏林大学を創りあげていこうとしています。(まとめ 編集部)

グローバル人材育成の重要性  
—異文化理解と自国文化の再認識

昨年、文部科学省のグローバル人材育成推進事業に杏林大学も採択されました。この事業は、外国語学部を中心に全学でシェアする取り組みです。

日本における国際人の条件の1つに、母語と英語に加え、もう1言語を使えることが入っています。その意味で日本語の他に中国語と英語が話せる学生をつくることは、価値のあるグローバル人材育成につながると思います。

ところで、グローバル教育によって、日本嫌い、外国びいきになったり、逆に極端な日本中心主義になるのは困りものです。日本人であれば、日本の良さや問題点、外国の良さや問題点を客観的に知ることが大事です。半年間ほど留学すれば、異文化を理解し、しかも自国の文化のよさに気付くようになると思います。このような体験をすることがグローバル教育の意義であり、このような体験をした学生はきっと国際社会で活躍できると思います。

## 英語による授業と留学生受け入れて国際的なキャンパスに

外国からの留学生を積極的に受け入れることも考えています。日本に大きな関心を持っていても、日本語ができないために日本に留学できない学生が多いこと



オックスフォード研修を行っていたレディ・マーガレット・ホール(左)。研修先では各地の名所・史跡も訪れたい。万里の長城(右)



# 就職活動支援

## 学生一人ひとりが 自立した職業人になるために

専攻する学業にしっかりと取り組むことが昔も今も変わらず学生の本分であることに変わりはありません。しかし、近年はそれに加えて、学生が在学中に働くことの意味を学ぶとともに就業意識を養い、自立した職業人になるのを支援することも大学教育の大きな課題になっています。

本学でも学部とキャリアサポートセンター（CSC）が連携して就職支援の活動を展開しています。このうち学部の授業では1年次から就業意識を養うキャリア教育に力を入れており、特に平成24年度から文系学部で実施している模擬就活体験はその最大イベントです。一方、CSCでも個別相談を基本に据えて多彩な支援プログラムを実施します。24年度は東日本大震災に見舞われた前年度より就職を取り巻く経済環境が改善しているのを受けて本学の就職内定率も今年1月末現在前年実績を上回っていますが、依然厳しい状態が続いています。

### 3年生全員が模擬就職活動を体験

外国語学部 / 総合政策学部

就職活動の本格的なスタートを前にした11月10日、外国語学部、総合政策学部の全ての3年生を対象にした「就職シミュレーション」と「就活トライアル」が開催されました。模擬就活体験はこれまで一部の学科で行われていましたが、今年度はじめて2つの学部が同日開催しました。



グループディスカッションに臨む外国語学部学生

外国語学部就職委員長 **柳田義男教授**

「キャリア指導」（2,3年次必修科目）など、就職活動に必要な力をつけるためのカリキュラムを組んでいます。面接などは練習しただけ力がつくので「就職シミュレーション」など有効に活用してほしいです。

就職委員（教員）を中心に、企業訪問やCSC主催の企業見学会「ジョブスタディ」に引率し、採用情報を収集しています。教員の就職支援の満足度を調べ、今後の支援に役立てるために4年生を対象に就職アンケートを実施しています。また、個々の学生の就職状況を教員同士共有することで就職先を紹介しあうなど学部全体で取り組んでいます。

企業の就職試験を想定して、学生はエントリーから筆記試験、グループディスカッション、面接など一連のプログラムを体験。企業の採用担当を招いて行われた面接では、面接官から直接助言を受ける場面も見られました。



面接を受ける総合政策学部学生

総合政策学部就職委員長 **田中信弘教授**

24年度から3年生対策を強化するため、6月と11月に「就活トライアル(模擬就職活動)」を実施しました。一連の工程をフィードバックすることで学生が就活に臨む姿勢が明らかに変わりました。3年生の2月には杏林大生の採用に積極的な会社が集まる、学内合同企業説明会が開催されます。ここに初動のピークを持つてくることも目標にしています。

ゼミ教員は毎月学生の活動状況をキャリアサポートセンター（CSC）に報告して、思うように活動できていない学生に対して双方からサポートします。来年度は保護者向けに就職情報提供ガイダンスを行います。

### 学部独自の 就職対策

保健学部

保健学部就職委員長 **石井和夫教授**



検査企業などでは病院からの外注受託（ランチ化）が進んでおり、求人は増えています。保健学部では、就職アドバイザー制と就職ガイダンス、就職模擬試験対策を独自の取り組みとして行っています。

4年次に研究室に所属すると同時に就職アドバイザー（教員）が一人ひとりの学生の活動状況を把握します。

3年次から4年次の前期にかけて3回実施する就職ガイダンスでは就活に必要な提出書類に関する基礎指導や面接のトレーニングを専門家がいます。

就職試験には国家試験に関連した設問があるため、就職模擬試験対策では専門分野と英語の対策をしています。

### 個々の学生へのきめ細かな対応

#### ● 支援プログラム例

- 個別相談・面接指導
- 就職ガイダンス
- 就職基礎講座
- 業界研究セミナー
- ジョブスタディ(企業見学)
- インターンシップ
- エントリーシート対策講座
- 学内資格講座
- SPI・一般常識模擬テスト
- 就活力徹底セミナー
- マナー講座
- 女子学生キャリアセミナー
- 模擬面接
- 就活サークル
- 警察官受験サークル
- 留学生就活サークル
- 学内合同企業説明会  
ほか



#### 多彩な支援プログラムを用意 **キャリアサポートセンター長 宮崎則行**

##### 面接指導重視と 多彩な支援プログラム

学生が実社会で生きてゆく力、いわゆる社会人基礎力を在学中に身につけ、希望する企業に少しでも多く就職させたい、これがキャリアサポートセンター（CSC）の願いです。

そのためにCSCでは学生の就職活動についての個別相談に積極的に応じて、その意向や悩みを詳細に把握することや、面接指導などに重点を置くとともに、学内資格講座や業界研究など多彩な支援プログラムを実施しています。更に就職ガイダンスや学内合同企業説明会をそれぞれ数回開いて学生が就職活動にスムーズに入れるように工夫を凝らしています。

##### 学部との連携を強化

また、就職委員会等を通じて学部の先生方との連携を一層強化することも心掛けています。その結果、各ゼミナールの先生が以前にも増して学生にCSCに相談に行くように声をかけており、CSCでの学生の面談回数は去年4月から今年1

月末までに延べ2300回余りになり、前年度の同じ時期の2.3倍に激増しています。CSCの相談を受けることは就活を有利に進める上で欠かせないと申し上げておきます。

##### CSCの課題

今後のCSCの課題は何よりも本学学生の希望する企業の求人を大幅に増やし就職選択の幅を広げることです。そのために企業訪問や各種の産学情報交換会への参加等を増やして、企業情報の収集に一層努める方針です。

##### 保護者との連携

保護者にも学部開催の説明会等で就職戦線の実情や本学の就職支援の内容について周知し理解を得る機会を増やしたいと考えています。自分の子供の就職支援活動に積極的に参加していただきたい、言い換えればよく目配りし温かい目で相談に乗ってほしいと願っているからです。

学生の就職内定率を劇的に上げる特効薬はありません。できることはすべて実践しよう、また新たに出来ることはないかをいつも考え、あれば実践に移そう、CSCではそれを合言葉に日々業務に取り組んでいます。

#### 警察官受験サークルの紹介

平成22年10月、警察官受験に関する情報提供やアドバイスを行う警察官受験サークルが始まりました。現在、サークル会員数は58人。4年生とOB合わせた今年度の就職対象者は19人で、2月末現在 警察官、消防官、世田谷区に計10人が合格しています（ただし、警察官合格者のうち1人は民間企業に就職を決めています）。サークルメンバーで内定を受けた4年生の杉本勇樹さんとCSCの後藤富士子調査役に話を聞きました。



総合政策学部 **杉本勇樹**さん  
(平成24年度神奈川県警合格)

勉強の仕方や試験対策は、サークルで行いました。参考書選びは苦労しましたが、アドバイスどおり基本的でわかりやすいものを手に入れました。論文添削や面接練習を何度もしてもらったおかげで、神奈川県警に合格することができました。



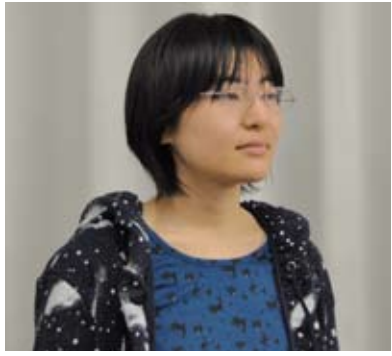
キャリアサポートセンター **後藤富士子**調査役

杉本君は3年になってすぐにサークルに入りました。一生懸命取り組んでいる学生ほど、進路や勉強方法に迷うことがありますが、杉本君にもそういう時期があったようです。私はずっと見ていたので、この調子で頑張れば大丈夫と背中を押しました。

サークルでは本人が気づいていない、自身のいいところを引き出すために、CSC職員が面談を重ねます。時間はかかりますが、受験時には本人の言葉でその人らしい論文や面接ができるようになります。

1年生	2年生	3年生	4年生
<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアガイダンス</li> <li>・学内資格講座</li> <li>・ジョブスタディ(企業見学)</li> <li>・進路相談 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアガイダンス</li> <li>・インターンシップ</li> <li>・業界研究セミナー</li> <li>・Eニアグラム など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エントリーシート対策講座</li> <li>・模擬面接</li> <li>・学内合同企業説明会</li> <li>・会社訪問 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学内合同企業説明会</li> <li>・企業発見相談会</li> <li>・各自就職活動 など</li> <li>→ 内定</li> </ul>

在学生リレー エンジョイ☆杏林 Life



歌にして日々の経験を伝えたい

「物言わぬ師」とふ献体者に捧ぐ  
カーネーションの白き花びら

わたなべ りさ  
渡邊 理紗  
(医学部医学科3年)

2010年第25回短歌現代新人賞・佳作入選  
2012年第55回短歌研究新人賞・3位  
医学生の日常を表現した短歌が評価され、昨  
年は朝日新聞文芸欄で自作短歌10首が紹介  
される

て」もらうだけだったはずなのにいつの間にか三十一文字の世界に足を踏み入れていました。以来中学高校と締切に追われつつ好きなように詠み散らし続け、それはここ杏林大学に入学してからも変わりません。休日や、授業の合間などの時間を使って詠んでいます。

勉強は忙しくないのか、と言われれば勿論忙しいのですが、医学部という環境は伝えたいことで溢れているので気が付いたら「あ、これどうやって詠もう」と考えてしまっているのです。ここまで来るともう趣味ではなく癖だと言った方が正しいかもしれません。

実習を通して感じる命の尊さ、医師になることの重たさ……私の中だけに留めておくにはもったいない経験も多々あり、それらを少しでも伝えられたらいいなと思っています。詠むことでその時に感じた想いを形にして残しておきたいという気持ちもあります。

文芸部あればいいのにな、と思いつつ今日も空き時間に第4講堂で辞書を傍らに置き原稿用紙を広げています。

「趣味で短歌を詠んでいます。」  
「大学は医学部です。」  
「ええ、医学生ですけど、短歌を詠んでいます。聞き違いじゃないですよ。」  
……と、こんな感じで私は自己紹介の時にだいたい3回くらい驚かれます。

私が中学1年生の時、学校の課外授業で梅の花を詠みに出かけたのが全ての始まりでした。鮮やかな紅の梅が風に吹かれて散る様子や白い梅の花びらが池に浮かんでいる様子を短歌にして、それをなんとなくうまく出来たかもなんて思って母に披露したのが運のつき。当時私より早くに短歌を習っていた母は「ちょっと見てもらいましょう」と私を師の所に連行し、私は初めて自分の作品の添削をしていただきました。

その時に直されたのは1語だけ。しかし、印象はガラリと変わりました。正確には、変わってしまいました。

元の歌が拙かったせいもあるかもしれませんが、たった1つの言葉の選択でこうも変わるのかと、完全に「ことのは」に魅了された私は、母曰く「ちょっと見

卒業生リレー

空港検疫所で  
人々の安全・安心を支える



ひらさわ ともよ  
平沢 智世  
(保健学部2007年卒)

入国ブースで業務にあたる(左)

国内で消費される食品は、どのくらい国内産で賄われているかをご存知ですか？ Made in Japan が少ないと感じる今、食品は約60%が輸入に依存し、輸入食品なくして日本国民の食生活は成り立たないとまで言えます。

厚生労働省 検疫所では、それら輸入食品を国内で流通、販売して安全か、審査や検査を行い監視しています。

私は、大学卒業後、成田空港検疫所検査課に配属され、在学中に学んだ微生物学の知識をいかし、各地の検疫所から運ばれてくる食品の検査をしていました。よく目にする冷凍食品や高級生ハム、チーズ、解禁日前に輸入されてくる有名ワイン…、検査した食品をスーパーで見つけると、実際にみなさんの食卓に並んでいることを実感し、日本の食の安全の一端を担っているのだと、この仕事にやりがいを感じました。

さらに、検疫所の仕事は、輸入食品の監視だけではなく、海外からもたらされる人の健康を脅かす要因を未然防止することです。その対象は、



感染症を媒介する蚊の調査は毎日行う。採集トラップ(写真左下)をチェックする平沢さん

輸入食品以外に、海外から入国する人や動物によって持ち込まれる感染症もあります。実際、成田空港での検査業務も食品だけでなく、入国する方に対し、デング熱やマラリアといった感染症の検査や感染症を媒介する蚊やねずみ等の動物の検査も実施していました。

検疫所職員は、数年毎に全国規模の異動があります。私は昨年4月、那覇空港検疫所に異動になりました。那覇空港は規模の小さい検疫所のため、全職員10名が、全ての業務を幅広くこなさなければなりません。検査室にこもりがちだった業務から一変、食品の輸入業者とやりとりしたり、入国者の健康状態をチェックしたり、空港内に蚊やねずみ等が潜んでいないか虫取り網やトラップで調査したりと、四苦八苦しています。

最後に、海外へ渡航される際は、渡航先の感染症情報を入手し、安全、快適に過ごせるよう心がけ、もし帰国時に体調を崩した時は、検疫所にご相談下さい。

■海外渡航者のための感染症情報 : <http://www.forth.go.jp>

学園創立 50 周年へ

クロニクル  
杏林年代記  
医学部附属看護専門学校



39年目を迎える看護専門学校

医学部附属看護専門学校は、昭和46年4月に「杏林大学附属高等看護学校」という名称で、進学コース2年制の看護学校として開設されました。その後、昭和50年4月に3年課程に学則を変更して再出発を果たし、今年で39年目を迎えます。

昭和52年9月に学校教育法の一部改正に基づく専修学校への切替えが認可され、校名を「杏林大学附属看護専門学校」に変更、さらに昭和54年4月には保健学部新設に伴い、従来の大学付属の呼称を医学部附属にあらため、現在の名称になっています。



開設直後の授業風景(左)。ユニフォームやベッドサイドの備品から、当時の様子がうかがえる。昭和60年頃の看護専門学校(右)。現在の看護・医学教育研究棟。用途や内部の装いは多少変わり、校舎に沿って植えられた木々や植物は立派に枝を伸ばしていますが、外観はその当時の姿かたちを留めています。

開校当時9割の学生が寮生活

開校間もない頃の入学生で、今は当院の看護師長として活躍している卒業生たちに話を聞くと、当時は今の看護・医学教育研究棟が看護専門学校校舎で、1~2階が教室、3~7階が寮になっていました。学校近辺に住んでいた一部の人を除いた9割以上の学生がこの寮で生活を共にしており、寮の部屋と教室が同じ建物の中ということで、寮生の中には、朝起きてパジャマ姿のまま1限の授業を受け、2限・3限と時間を追うごとに(一旦自分の部屋に戻って)身なりが整っていく、という光景もたまに見られたそうです。



5回生の戴帽式の様子。学生一人ひとりにナースキャップが授けられる、この伝統のセレモニーは21世紀の今も綿々と受け継がれています。

在学中の思い出

体育祭(平成20年度まで実施)や修学旅行(平成4年度まで実施)、学園祭やキャンドルサービスなども在学中の思い出深いイベントのようでした。

修学旅行は初期のころは施設見学と観光をセットにしたもので、「(当時めずらしい)君津老人ふようマンション→鴨川シーワールド」、「聖隷浜松ホスピスから館山寺→岐阜の温泉泊」など研修旅行に近いものでした。11回生から15回生まで3泊4日で沖縄で、16回生はサイパン島で実施されました。

教員も個性的で、厳しいながらも情熱を持って熱心に指導して下さったと懐かしそうに振り返っていました。

3,289名の卒業生

歴史と伝統ある附属看護専門学校。この春、新たに新米看護師として羽ばたく若者を含めると同校の卒業生は、3,289人になります。

准看護師の養成機関

本学には准看護師の養成機関もかつて存在していました。本学の前身・三鷹新川病院が開院した直後の昭和31年9月、同病院付属准看護婦学院として発足しました。

昭和38年に「東京杏林学院准看護学科」と名称変更し、昭和45年の杏林大学医学部開設時に、施設、運営が全て学校法人杏林学園に移譲されるなどいくたびかの変遷を遂げ、昭和53年10月12日廃校となりました。

この間、ひたすら看護師養成のため歩み続け、優秀な卒業生を社会に送りだした、その役割はとて大きいものでした。



東京杏林学院准看護学科最後の卒業生(昭53.3.17)

1971年の出来事

- 『仮面ライダー』、毎日放送・NET系列放映開始
- 阪神の江夏豊、プロ野球オールスターゲームで9連続奪三振達成
- 日本マクドナルド、1号店を銀座三越に開店
- ニクソン米大統領、金・ドル交換の一時停止発表。1ドル=360円体制崩壊。東証ダウ大暴落
- NHK総合テレビ、全放送のカラー化開始 など

# 学部・大学院トピックス

## 医学部

### ●授業紹介 学生によるCPC (Clinicopathological Conference: 臨床病理検討会)



授業の様子：病気の知識とともに、実際の症例に関するさまざまな問題への対応を要求されます。CPCの学習効果は、学生自身が問題意識をもって自主的かつ積極的に学習に取り組むか否かにかかっています。医学に対する謙虚な姿勢を保ち、かつ誠実怠りなく学習することが重要です。



4年次までに学んだ医学知識の応用として、5年次にCPC形式の模擬体験授業がBSL(Bed-Side Learning: 臨床実習)とともに行われます。BSLで学生は、少人数のグループに分かれ、臨床各科を約1年間にわたって順次回ります。病院病理部のBSLでは、生検、手術症例の病理診断等に加え、各グループが担当するCPC症例の検討も行います。

CPCで学生は、臨床班と病理班に分かれ、診断と治療の過程と、病理解剖所見を発表し討論します。具体的には、臨床班の学生が病歴、理学所見、検査成績、放射線画像等を提示し、進行係の臨床教員による質疑応答、放射線科教員による解説を交えながら、適切な診断と治療へ

と導かれます。つづいて病理班の学生が、病理解剖の肉眼所見と顕微鏡所見を提示し、病理教員の助言の下に最終的な病理診断、死に至った病態を総合的に考察します。さらに重要関連事項についてコメントーターの臨床教員がまとめの講義をします。

1月11日の講義テーマは「敗血症、慢性腎不全、膵癌」で、多発性嚢胞腎患者に発症した膵癌の病理解剖例について7人の学生が発表し、要伸也准教授(第一内科学/腎臓・リウマチ膠原病内科)、立石秀勝助教(放射線医学)、藤原正親講師(病理学)が解説とまとめの講義を行いました。

(医学部病理学教授 菅間博/第一内科学教授 有村義宏)

## 保健学部

### 新設 診療放射線技術学科 4月スタート



医療技術の高度化や細分化に伴い、患者さんを中心とする各医療専門家によるチーム医療は益々重要になってきています。その中で放射線の利用は必要不可欠であり、医療チームの一翼として診療放射線技師は欠くことのできない専門家です。

本学医学部付属病院は、国より「地域がん診療連携拠点病院」としても指定され、質の高いチーム医療を提供しています。それゆえ杏林大学として診療放射線技術学科を開設し、教育を行うことは一つの社会的使命でもありました。

その思いが、多くの受験生に伝わったのでしょうか。診療放射線技術学科の25年度入試は募集定員50名に対して788名の応募がありました。

カリキュラムの編成は、学科新設の高い志を反映すべく欲張りなものとなりま



した。特に高度な診断機器・治療機器を有する付属病院放射線部の協力を得ての教育、そして医療人として豊かな人間性を兼ね備えた人材育成のため、文系2学部の協力を得て、人間科学系と語学系科目の充実を図ったことが大きな特徴です。

さらに放射線関連分野全般に精通した高度な技術を持った人材の養成を目的に、難関な国家資格である放射線取扱主任者免許取得のための演習時間もカリキュラムの中に取り入れました。

このように新設学科では高度な専門知識や技術のみならず、人間性豊かで高い倫理観を持った診療放射線技師を養成してまいります。

(保健学部教授 石井和夫)

### 医学部付属病院 新第3病棟完成

平成24年8月、医学部付属病院では、ヘリポートを備えた地下1階・地上10階建て、病床数370床の新第3病棟が完成し、10月4日から運用を始めました。

新第3病棟は、外科病棟と連結一体化した免震構造で、主として内科系の診療科が入っています。外科病棟とは各階それぞれ関連した診療科が通路で繋がっていて診療面でも一体化しています。また、「森の病院」をコンセプトとして武蔵野の面影を残す周辺の緑を取り込むとともに、日射の遮光や採光、通風に配慮した環境配慮型の造りになっています。

1階のHCU(High Care Unit: 高度治療室)は24床全てモニター完備の個室です。また、感染症患者の入室は一般患者と完全に別経路にして、パンデミックの対応に万全を期しています。4階の脳卒中センターには、一般病床30床、脳卒中ケアユニット9床、専用のリハビ



リテーション室があります。屋上ヘリポートにより、大規模災害時の災害拠点として緊急対応が可能になるため、日本各地の救命センターから超重症患者の受け入れも容易になります。学生の実習は、この新第3病棟を含め、最新の施設・設備の中で行われます。



### キャンパス情報⑨ 八王子キャンパス 杏林大学職員寮(交換留学生寮) 教員・留学生の思い出の場所

滝山街道から八王子キャンパスの正門に続く坂道の右側に大学の交換留学生寮・職員寮があります。寮が開設したのは昭和46年で、当時は医学部の女子学生寮として使われていました。現在は1年間の期限で来学する交換留学生と職員が利用する寮になっています。その後改修を行い、1階はキッチン、大型テーブル、テレビ、ソファなどが配置された共用スペース、2階から6階が個室(一部キッチン、バス、トイレ共有)になっており、男女12人の交換留学生が生活しています。

9年前から寮内の共用部分や建物周りの清掃、時には留学生の身の回りの世話や相談にも応じている、寮の管理人 高山昌子(たかやままさこ)さんにお話を伺いました。

#### 仕事の内容について——

寮は自炊なので、食事に関する仕事はありません。1階の共用スペースや廊下、外回りの清掃や片づけ、生活用品の補充、毎週のごみ出し、各室の定期清掃や設備点検の立会いなどをしています。

#### 留学生について——

入寮者は交換留学生なのでどの学生さんとも1年間のお付き合いです。ただ、杏林大学や日本の大学に入学したり、日本で就職した方が、訪ねて来ることもあります。

夏休みには、台湾の日本語教師がキャンパスで研修を受けるために2週間余り寮に滞在します。その研修生が、次の年から2年続けて引率補助として学生に付き添って来たときは懐かしい親戚に会う気分でした。

寮を出た学生からクリスマスカードや年賀状、手紙をたくさんいただきます。懐かしく、何より励みになりますね。

#### 先生や日本人学生との交流——

大学でもいろいろなイベントを開いているのを聞いています。節分のみめを用意して、説明書きを添えていたら、さっそく気に入ったようで、母国で実際にやってみてみんなに教えてあげたという学生さんもいました。

毎週秋田から来られている谷口賢一郎先生は週に1度寮を利用されます。昨年



ちょっとした日本の文化や習慣なども取り入れ、仕事に反映させようと心がけているという高山さん(中央)

は先生のご指導で秋田名物のきりたんぼ鍋やそば粉クレープを留学生と作って食べました。私も仲間に入れていただきましたが、食の交流も印象深い思い出になるでしょうね。

#### 楽しい留学生活のお手伝い——

私の息子はいま海外にいますが、きっと多くの方に助けてもらっていると思います。恩返しではないですが、これからも留学生のみなさんが楽しく1年間を過ごすお手伝いをしたいと思っています。



年賀状や近況を報告する手紙は数えきれないほど。結婚の報告や寮で共に過ごした仲間のこと、中にはあの時は言えなかったけど...と思わぬことが書いてある手紙もあるそうです。

# 総合政策学部

## 1年生がチャレンジ 秋学期プレゼミナル・ビジネス・コンテスト 多角的視点や発想力などを養う



「前期に比べ後期は明らかによいプレゼンができています。プレゼン力はやればやるほど上達する。2年生ではディスカッション力も鍛えます」と担当の木暮健太郎准教授。

1年生全員が所属するプレゼミナルでは、高学年での学びや専門分野への研究に必要な準備を行います。

このプレゼミ活動の一環として本年度からプレゼンテーション力やリサーチ力の向上を目的に「プレゼンテーションコンテスト」を年2回(7、12月)実施しています。コンテストは全19のプレゼミナルから予選を勝ち抜いた選抜チームにより競われます。後期のテーマは「ビジネスプランを考える」で、12月19日に10組がコンテストに臨みました。

コンテストの指標はビジネスにおける考え方や手法を使い、相手を納得させるかを動かすプレゼンテーションができるか

どうかを、着眼点、ビジネスの必要性、実現可能性、プレゼンテーション力、6分間の制限時間遵守の各項目について6人の審査員が5点満点で総合的に評価します。

今回は同点で優秀賞に久野プレゼミ、三浦プレゼミ(二輪車駐輪場問題について)、学部長賞に伊藤プレゼミが輝きました。

2年次からは複雑に利害が絡み合う社会の諸問題を理解し、解決の糸口を探る「学際演習」の授業が始まります。多角的な視点や発想力、交渉力の初歩を身につけるために、学生には柔軟な発想で果敢に挑んでいくためのコンテストです。

テーマ	発表者	プレゼミナル担当
「排水管を地上に設置する」	齊藤慎弥、速水 昌、金子実咲、長田沙央理	糟谷崇講師
「昔のもの(ファッションなど)を流行させる」	小田原美月、狩野里奈、石田一宏	劉迪准教授
「ニートを活用した農業促進」	佐藤 新、斎藤大河、飯田 渉、中村卓也	岩隈道洋准教授
「関東で関西のローカル番組を見る」【学部長賞】	高橋知大、大野真也、櫻澤和樹、波形英輝、五十川 司	伊藤敦司准教授
「スクールバス」【優秀賞】	佐本武典、竹腰 連、東田智生、ミシェル・オウ・ス・ニ	久野新講師
「腕時計型 SUICA」	小田龍之介、窪田健司、末松冨香、柳原直人、島 諒也、今野仁美	斎藤崇准教授
「ショッピングスルー 携帯で買い物する、サービスが見える」	鈴木美緒、森屋研人、山下洋希、藤井快斗、白尾圭吾	藤原究講師
「二輪車駐輪場問題について」【優秀賞】	八木大貴、倉光健一	三浦秀之講師
「右利き社会と左利き」	小林 暉、若木晶子、内田貴大、北原侑樹	三浦秀之講師
「ランニングステーション併設コンビニエンスストア」	谷 健次、岩田賢治、金井雄太	岡村裕准教授

# 外国語学部

## 海外日本語教育実習インターンシップ



協定校の大仁科技大学(台湾)で日本語を学ぶ学生とカルタの要領で日本語に親しむゲームをしている外国語部の学生(左)。「日本語教授法演習」を履修している学生と交換留学生(右)。

日本語教育や日本語教師の仕事に関心をもつ学生のために日本語教育関連の専門科目のプログラム※を用意しています。日本語教師とは、日本語を母語としない外国の人たちに、日本語や日本文化を教える仕事です。

※来年度から現行の「日本語教育関連(日本語教師養成プログラム(17単位で修了))」に加え、さらに日本語及び日本文化を海外に発信することのできるエキスパートを育成するためのプログラム(26単位で修了)も開設されます。

来年度より、これら日本語教育や異文化コミュニケーションに関連する科目、国内での教育実習など一定単位数を履修した者が、実際に海外の日本語教育の現場を体験できる「海外日本語教育実習インターンシップ」がスタートします。

このインターンシップは、「グローバル人材育成推進事業」において実施されるもので、言語教育や文化交流の体験をとおり、異文化間の架け橋や調整役

になり得る人材の育成をめざす「SEND(Student Exchange - Nippon Discovery) プログラム」の一環です。

インターンシップは、本学の交換留学協定校の一つであるクライストチャーチ工科大学(CPIT)で行われます。初年度となる平成25年度は、4月頃に説明会、募集を行い、8月下旬から約2週間、4名程度の派遣を予定しています。

日本語を母語としない外国の人たちに日本語や日本文化を教えることは、異文化を知るだけではなく、自国の文化を再認識する絶好の機会ともなります。日本語教師に興味のある学生はもちろんですが、将来外国で仕事をしたいと考えている人、さまざまな国の人たちと一緒に働いてみたい人、国際交流に興味がある人などにも、ぜひチャレンジしてほしいと思います。

(外国語学部准教授 嵐 洋子)



インターンシップが行われるCPIT。8月下旬から約2週間、派遣された学生は、CPITの日本語クラスでティーチングアシスタントをする。ほかにもスピーチコンテスト、異文化交流会などの手伝い、英語を使った日本文化の紹介など、幅広い活動を行います。

# 高大連携 高校と大学の架け橋

## 高校生の立場に立った活動

第2次中期計画(平成22年~24年度)において、高校と大学の教育接続のあり方を目的とした高大連携部会が発足しました。

部会では幾多の議論を重ね、まずは高校生(高校)の立場に立った連携事業を研究することとし、八王子キャンパスへの通学圏の高校196校に高大連携事業ニーズ調査を実施しました。そして、そのうち18校を訪問し、次の5つの事業を行うことにしました。

- ①高校生に大学の体験の場を用意して、大学進学のための目的・目標につなげる。
- ②高校のキャリア教育の一環として本学で就労体験を行う。
- ③中国語による高校生と大学生の交流体験を行う。
- ④大学の講義を受講し、高校での単位認定につなげる。
- ⑤理科・科学の学問への興味拡大をはかる。

高校訪問によって具現化できる連携事業から活動を開始しました。

(中期計画実行委員会 高大連携部会)

「大学には担任の先生はいるの?」

「クラブ活動とか、高校時代と違うのかな?」

「大学生は大人扱いに変わる!」

「卒業後はどんな仕事があるの?」

「時間割が決まってないとすると、授業はどうやって決めるの?」

「制服もなくなり、大手を振って街にでかけられる!」

「友人はできるかな?」



## 大学体験プログラム

保健学部臨床工学科の実習室を見学。病院で実際に使用している高度な治療機器を使って行われる実習について詳しい説明を受ける高校生。



## インターンシッププログラム

図書館の貸し出し業務など、キャンパスの各部署の業務を体験。



## 体験講義・実習

医学部感染症学教室で講義と実習を受けました。感染症について学び、サバを解剖してアニサキスを検出しているところ。

## スプリングセミナー

保健学部の実習、外国語学部・総合政策学部の授業を体験しました。





### クラブ・サークル紹介

八王子・三鷹両キャンパスではあわせて87のクラブとサークルが活動しています。今回は、医学部管弦楽団とハンドボール部（八王子キャンパス）を紹介します。

#### ●医学部管弦楽団 音楽で心をひとつに、聴く人が心豊かになるような演奏を目指して



今年の定期演奏会

今年、創部31年を迎える管弦楽団には現在、医学部、保健学部、看護専門学校の学生43名が在籍しています。顧問は医学部解剖学教室 川上速人教授と医学教育学教室 赤木美智男教授で、指揮者の阿部肇先生にご指導いただいています。

普段の合同練習は週2回。講堂や学生食堂でセクション練習や合奏を行うほか、不定期で阿部先生による全体合奏：tutti もします。もちろん演奏会前は練習日、時間ともに増えます。

演奏会は5月の院内コンサート、秋の定期演奏会、冬のクリスマスコンサートの年3回です。中でも秋の定期演奏会は最大のイベントで、8月に指揮者や楽器トレーナーの先生方に集中的に指導

を受ける合宿をします。

OB・OGの皆さんは、定期演奏会への出演協力や合宿の参加、日々の練習の指導など私たちの活動を応援して下さいませ。

今年の定期演奏会は10月19日(土)、三鷹市公会堂で開催します。曲目はサン＝サーンス「サムソンとデリラ」より『バッカナル』、ビゼー『カルメン』、ベートーベン交響曲第5番『運命』の3曲です。皆様が楽しくなる演奏会にしたいと思います。ぜひ足をお運びください。(医学部管弦楽団 医学部医学科3年 金瑛仙)

沿革：1982年室内楽同好会として誕生。1986年室内楽団となり、秋の定期演奏会をスタート。1991年管弦楽団に改名。1996年より杏林大学医学部慰霊祭での演奏を始め。2004年第15回西日本オーケストラフェスティバル(通称西オケ)の主幹を務める。

#### ●杏林大学ハンドボール部

リーグ戦上位を目指して

ハンドボール部は部員が男女合わせて12人ですが、八王子キャンパス松田記念館を拠点に練習をしています。

ハンドボールは欧州ではメジャーなスポーツです。日本では体育の授業で経験した方もいるでしょうし、オリンピックでのプレーをテレビ観戦した方も少なくないと思いますが、まだマイナーです。

さて私たちハンドボール部が参加する主な大会に関東学生ハンドボール連盟主催の春季・秋季リーグ戦があります。

男子部は平成24年度の春季リーグ戦で7部リーグで優勝し6部に昇格しました。しかし、秋季リーグ戦では下位2位となり、残留をかけた7部リーグ2位との入替戦に敗退し、7部に降格しました。女子部は平成24年度春季リーグから参加しており、現在2部に在籍しています。



1チーム7人の選手が、相手ゴールにボールを投げ入れて点数を競うハンドボールは、「走」「投」「跳」の3要素が揃ったスポーツ。空中の格闘技と言われるようにスピード感ある展開と、ダイナミックなシュートが魅力。

土曜日は三鷹キャンパスハンドボール部(医学部、保健学部、看護専門学校生で構成)と合同練習をします。関東学生リーグは彼らと合同で参加したり、医歯薬リーグにも一部部員は参加します。昨年11月に行われた医歯薬リーグ戦では4位という成績を残しました。

支援して下さるOBの皆様に感謝し、25年度は好成績を残せるように部員一同日々練習に励んでいきます。

(杏林大学ハンドボール部代表 保健学部救急救命学科2年 入道隼斗)

#### 数字で見る杏林大学 ⑨

2,856 ?

これは杏林大学(看護専門学校含む)の課外活動であるクラブや同好会に参加している学生の数の延べ数です。学生数は約4800人余りですので、加入率は5割を超えています。八王子キャンパスでは、総合政策学部と外国語学部の文系を中心とするクラブに795名、同好会に320名が在籍し課外活動に励んでいます。硬式野球部は112名を擁し一部リーグでの活躍は知られています。杏林大学吹奏楽団(55名)は入学式や卒業式、学内の各種イベントのほか、昨年は秋川のキララホールでも演奏会を開いています。マンガ研究会(45名)は日野市のイルミネーションオブジェ設置などの地域にも活動を広げています。同好会の杏林書道会(18名)には留学生も多く参加しています。保健学部を中心とするクラブには607名、同好会には33名が参加。保健学部フットサル部は104名の大所帯です。救命サークルKELCは救急救命士になるための実践的な活動をしています。

三鷹キャンパスでは1084名が加入しており、医学生を中心に看護学科生や看護専門学校の学生と一緒に活動しているクラブ、同好会が数多くあります。ウエイトトレーニング部(52名)、端艇部(50名)、バドミントン部(48名)、バスケットボール部(47名)、ゴルフ部(47名)、陸上競技部(44名)などが部員の多いところ。医学生の加入率は90%を超え、忙しい学業と両立させています。

さて、クラブと同好会の違いをご存知ですか？クラブには助成金があり、同好会にはそれがありません。毎年2月3月になると、クラブ、同好会の審査・面接が担当教員によって行われ、活動の活発さや参加人数などが勘案されて同好会からクラブに昇格することもできます。課外活動で学生生活をより一層充実させましょう。



### 金田一 教授の研究室から ⑨

金田一秀穂(きんだいち ひでほ)：1953年東京生まれ。東京外国語大学大学院修了。中国大連外語学院、米イェール大学、コロンビア大学などで日本語講師。1988年より杏林大学外国語学部で教鞭をとる。

#### 近頃の若者は・・・



大学で教えていると言うと、最近の若い人はどうですか、と聞かれる。取材の人から、仕事で会う人から、講演会に来ているお客さんから、尋ねられる。言葉遣いがひどい、礼儀を知らない、常識がない、本を読まない、総じて頼りない、困ったことだ、ということ、私に言わせたいことが、ありありとわかる顔をしている。それで、なかなかいいですよ、僕は大好きですが、と言うと、意外そうな顔をされる。

最近の若い者は、という文句を並べるのは、大昔からあったことだ。それが事実ではなかったことも、歴史が証明している。しかし、そのことを彼らは知らないのか、あるいはすっかり忘れてしまっているのか、ひょっとすると、今の若者は史上稀に見るダメな若者であるというのか。性懲りも無く、若い人の悪口を言う。呆れてしまう。

何とかいう国際学力テストがあって、世界での順位が落ちたから、日本の若者の質が落ちた、と彼らは本気で思っているらしい。当の若者の中にもそのように思って自信をなくしている人がいるという。どうせコトリですから、などとひがみむらしい。とんでもないことだ。

時代が新しくなるにつれて、人の能力

は確実に向上する。スポーツの新記録が毎年更新されていくのをみれば明らかだ。今の若者たちは、私たちが若かった頃よりも確実に賢くなっている。認めたくないけれど、彼らの方が秀れている。

昔の人に比べて、今の人の教養程度が落ちていくように感じられることはある。しかし、それは、比較の仕方を間違えている。古い時代の賢い人と、今の時代の凡人を比べても意味はない。今の時代に記憶されている昔の人は、恐ろしく賢い人たちののだ。その人たちと比べるべきは、今の時代の賢い人たちののだ。私たちは普通の人間であり、つまらない愚か者なのだ。昔も私たちのような愚か者はいただろうけれど、その人たちのことは忘れ去られてしまっている。比べようがない。

これからの時代を作ってくれる人たちは、私の世代よりも広い知識を持ち、十分に思慮深く、のびのびと自身を成長させていくに違いない。それを私たち教師が信じないで、一体誰が信じるだろうか。彼らに未来を託するのが、私たちの義務であるのだ。

どうか裏切らないで欲しいとおもう。



#### 健康ひとくちメモ⑨

#### 正しく食べて元気になる！



「医食同源」という言葉を知っていますか。この言葉は中国の「薬食同源」を基に日本で作られた言葉です。栄養バランスの取れた食事を摂ることで、病気を予防すること、食べ物によって病気を治療するという意味があります。「食べる」ことは元気の源であり、長生きの秘訣、そして楽しみの一つでもあります。

食事は習慣的な影響が多く、育った家庭での食習慣がそのまま引き継がれる反面、一人暮らしを始めたとか、結婚したなど生活環境が変われば食習慣も変わります。常に正しい食習慣を身につけるようにしましょう。

正しい食習慣とは、バランスの良い食事(主食+たんぱく質のおかず+野菜の組み合わせ)を、適量(腹八分目)、ゆっくり良く噛んで(1口30回以上)食べることです。

次のようなことはしていませんか。

- ①朝食を食べない。⇒朝食を摂らないと午前中の頭の働きも悪い。

- ②昼食はラーメン+チャーハンだ。⇒主食の重ね食いは肥満の原因になる。
- ③麺のつゆはもったいないので全部飲む。⇒食塩の摂り過ぎになる。
- ④揚げ物が大好きで毎日のように食べる。⇒脂肪が多くエネルギー過剰になる。
- ⑤ジャンクフードを良く食べる。⇒エネルギーは高いが、他の栄養素が少ない。
- ⑥野菜はほとんど食べていない。⇒ビタミン、ミネラル、食物繊維が不足する。
- ⑦甘い飲み物をたくさん飲んでいる。⇒ペットボトル症候群になる。
- ⑧ケーキが大好きで別腹だ。⇒肥満、脂質異常症予備軍。
- ⑨夕食はいつも9時過ぎだ。⇒脂質異常症予備軍、翌朝の食欲がなくなる。
- ⑩お酒を飲んだ後にラーメンを食べる。⇒肥満、脂肪肝予備軍。

さて、上記の10個の内、いくつ当てはまりましたか。1つでもあれば食習慣の見直しが必要です。

(佐藤ミヨ子：杏林大学病院栄養部長)

さとうみよこ 1946年福島県津若松市生まれ。佐伯栄養学校卒業後、三井記念病院へ就職。1994年東京大学医学部附属病院へ転職。同病院栄養管理室長を経て、2007年杏林大学医学部附属病院栄養部へ勤務。栄養部長。



#### 2013年度 大学行事・イベント (平成25年3月～平成25年9月)

3月18日(月)	卒業式	7月24日(水)～	定期試験
4月4日(木)	授業開始	8月上旬～9月14日(土)	夏季休暇
4月7日(日)	入学式	9月13日(金)	卒業式(春学期)
6月上旬	杏会総会(保健・総合・外語保護者会)	9月17日(火)	入学式(秋学期)
7月23日(火)	授業終了		*医学部の授業開始・終了、夏季休暇はこれとは異なります

編集を終えて .....  
・震災からもうすぐ2年になります。3年生への進学を目前に被災して試験に耐えた学生がひとまわり大きく逞しくなっている春卒業します。おめでとう。大学にグローバルの風が吹いて、あちらこちらで学生と教職員の信頼関係に化学反応が生じています。第9号も、「ナンバーワンの新聞を！」という編集顧問木下修先生の最終段階ぎりぎりまでハードルをあげ続けるご指導をいただきました。御礼申し上げます。(有)  
・これまでの「付属病院の下、実践的なスキルが身に付く教育環境」、第2次中期計画で取り組みを始めた「総合大学の利点を活かした学部間連携の強化」、そして文科省の支援を受け「日中英トライリンガル人材育成」を目指す今回のグローバル教育推進。キャンパス移転前に杏林ブランド「3本の矢」が揃いました。(ふ)  
・「在学生リレー」の渡邊理紗さんは次のような短歌も詠んでいます。「医の道を聖職といふ父母の白衣は今朝も皺一つなし」「長すぎる袖の上着を送り来し兄は被災の福島に住む」(き)